

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

九条北小	学校
------	----

児童数	45
-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.05	19.82	33.82	35.62	41.32	9.57	140.47	20.41	49.50
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	17.65	16.95	36.15	35.90	40.10	9.58	138.30	12.60	53.15
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

体力合計点を見ると、男子・女子ともに全国の平均値を下回り、女子は大阪市の平均値を上回る結果であった。個別の種目では、男子は握力・上体起こしにおいて、大阪市・全国の平均値を上回り、女子は握力・20mシャトルラン・50m走において、大阪市・全国の平均値を上回る結果を残している。しかし、男子・女子ともに反復横跳び・立ち幅跳び・ソフトボール投げにおいて、大阪市・全国の平均値を下回る結果となっており、課題となっている。

児童質問紙を見ると、質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答が、男子では「好き」「やや好き」の合計が81%で大阪市・全国の平均値を下回り、女子では「好き」「やや好き」の合計が約90%と大阪市、全国の平均値を上回っている。

また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子は25.0%で大阪市・全国の平均値を上回り、女子は17.3%で大阪市・全国の平均値を下回る結果となった。男子の総運動時間は、全国平均に比べるととても短く、運動好きの児童の数が少ない要因の一つになっていると考えられる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

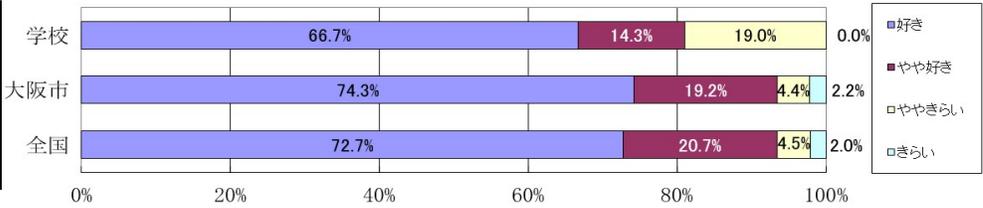
本校では、反復横とびについて、例年課題となっている。今年度も男子・女子共に大阪市・全国平均を下回る結果となった。体育科の授業や休み時間において、「かけ足カード」や「なわとびカード」を活用し、児童の体力向上に努め、男女ともに大阪市の平均値を上回ることを目標としてきた。しかし、今年度の体力テストの結果は、男子・女子共にほとんどの種目において、大阪市の平均値を下回る結果となった。この結果を受け、これまで以上に体を動かす機会を増やし、どの児童にも成果が表れるようにしていくことが大切だと考える。

今年度は、男子・女子ともに立ち幅とびに課題が残った。また、男子では20mシャトルランに課題が見られた。今後は、個別の基本的な運動について、工夫しながら取り組みを進めていく必要がある。

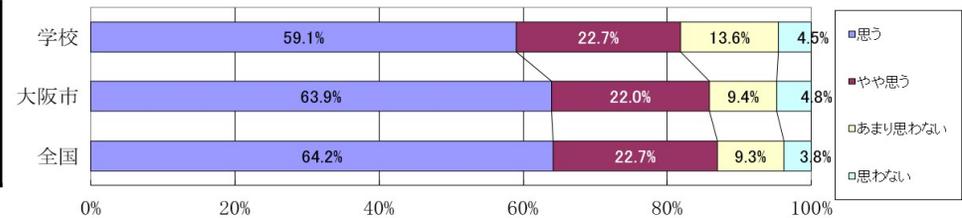
運動やスポーツ・ふだんの生活について(男子)

本校の特徴的な結果

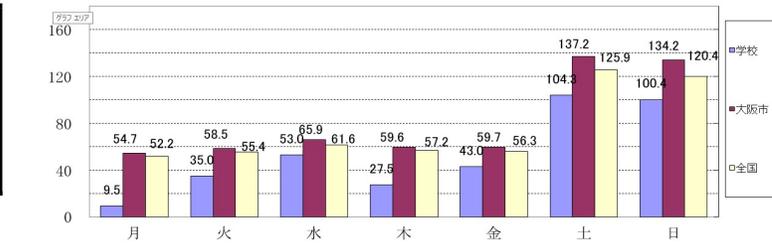
検証項目1
運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。



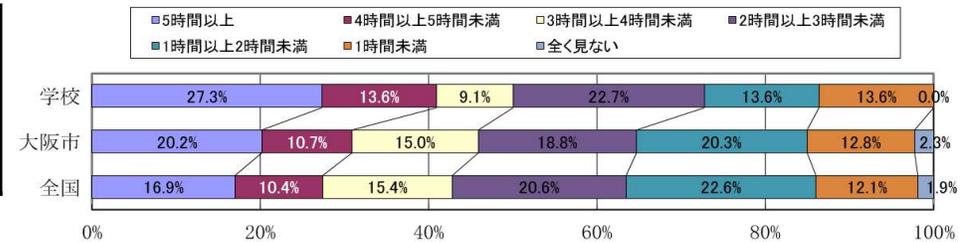
検証項目2
中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをする時間を持ちたいと思いませんか。



検証項目3
ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか。それぞれの曜日のらんに記入してください。



検証項目4
平日(月～金曜日)について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



成果と課題
男子児童は【項目1】運動やスポーツが好きですか、【項目2】中学に進んだら自主的に運動する時間を持ちたいですか、に対する好意的な回答の割合は大阪市・全国平均よりも低い結果であった。【項目3】学校の体育の授業以外で、運動やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか、において全ての曜日で大阪市・全国平均よりも低い結果であった。【項目4】平日学習以外でどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか、において5時間以上と回答する児童が約30%に迫り、3時間以上と回答する児童を含めると50%であった。テレビやスマートフォン、ゲームに費やす時間が長くなってしまっていることが、男子児童の運動する時間が短くなっている原因の一つであると考えられる。

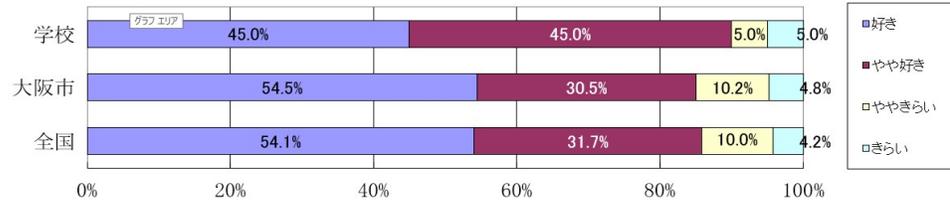
今後の取組
外で元気に遊んだり、体育の時間以外に運動したりする時間がまだまだ不足している現状がある。学校では、引き続き運動やスポーツの楽しさや素晴らしさを実感できるような取り組みを続けるとともに、反復横とびやソフトボール投げなどの個別の基本的な運動についても、工夫を重ねながら取り組みを進めていきたい。

運動やスポーツ・ふだんの生活について(女子)

本校の特徴的な結果

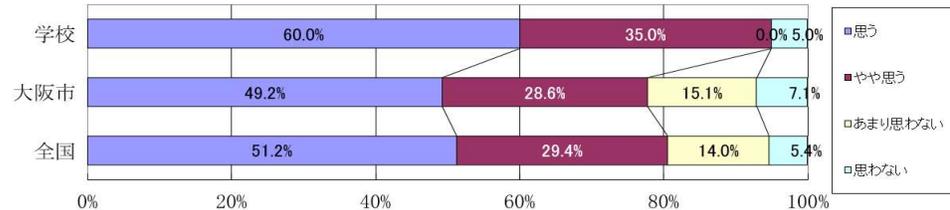
検証項目1

運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。



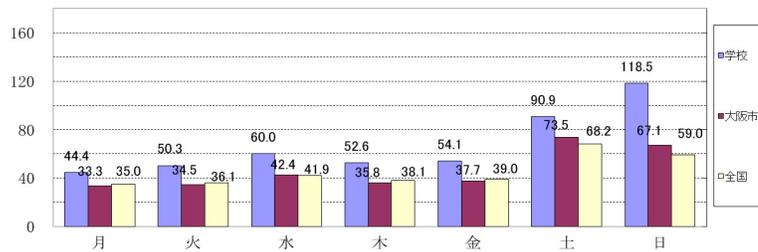
検証項目2

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをする時間を持ちたいと思いませんか。



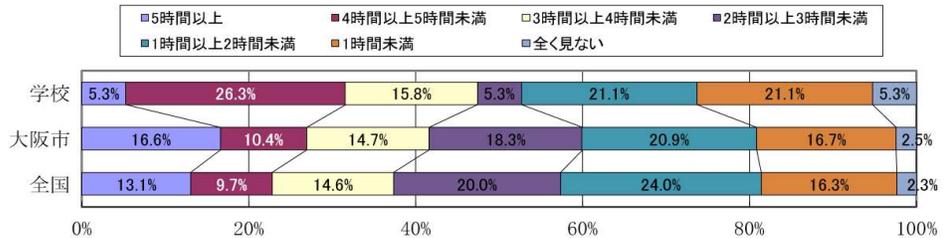
検証項目3

ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか。それぞれの曜日のらんに記入してください。



検証項目4

平日(月～金曜日)について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



成果と課題

女子児童は【項目1】運動やスポーツが好きですか、に対する好意的な回答の割合は大阪市・全国平均よりも高く、【項目2】中学に進んだら自主的に運動する時間を持ちたいですか、に対する好意的な回答の割合は95%と大阪市・全国平均を大きく上回った。【項目3】学校の体育の授業以外で、運動やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか、において全ての曜日で大阪市・全国平均より高い結果であった。【項目4】平日学習以外でどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見えていますか、において3時間以上と回答する児童は50%に迫っているが、そのうち5時間以上と回答する児童が約5.3%と大阪市・全国平均を大きく下回った。このことが女子児童の運動する時間が長くなっている原因の一つである、と考えられる。

今後の取組

女子児童は、運動やスポーツをする時間が確保できている割合が高い結果を得ることができた。しかし、体力テストの記録においては多くの種目で大阪市・全国平均を下回っている現状がある。学校では、15分の休み時間や昼休みの時間等を有効に活用しながら、体を動かすことの楽しさが実感しつつ体力づくりができるような取り組みを進めていきたい。